

令和7年度 指定管理者年度評価シート

1 公の施設の基本情報

施設名称	千葉市美術館	千葉市民ギャラリー・いなげ
条例上の設置目的	千葉市美術館条例（平成7年千葉市条例第34号）（抄） 第1条 本市は、美術に関する市民の知識及び教養の向上を図り、市民文化の発展に寄与するため、次のとおり千葉市美術館を設置する。	千葉市民ギャラリー・いなげ設置管理条例（昭和63年千葉市条例第40号）（抄） 第1条 本市は、市民の美術作品の発表及び鑑賞並びに制作のための施設として、次のとおり市民ギャラリーを設置する。
ビジョン （施設の目的・目指すべき方向性）	本市における美術振興の核となる施設として、博物館法（昭和26年法律第285号）に規定する美術館の役割・機能を着実に果たすとともに、文化面から千葉都心の集客を図り、市民サービスの向上に寄与する。	市民に身近な芸術活動の拠点として、幅広い世代の人々が親しく美術に触れ合う場となるとともに、歴史的建造物の保存・活用を推進する。
ミッション （施設の社会的使命や役割）	・市民と密接に結びついた市民参加型の美術館であること。 ・生涯学習の機能を兼ね備えた美術館であること。 ・他の博物館等との連携や、地域の多様な主体と連携・協力を行いながら、地域における文化の振興等により地域の活力の向上へ寄与すること。 ・首都圏の中で際立った個性を備えた魅力ある美術館であること。 ・市民の文化・芸術の拠点として、市のまちづくりや魅力の向上によりシビックプライドの醸成に寄与する美術館であること。 ・幅広い視点から市民の美意識を育てる質の高い美術館であること。 ・所蔵作品のデジタル・アーカイブ化を進めると共に、デジタル化した作品の活用にも努めること。 ・体験等を中心とした事業を実施し、美術に関する市民の創作活動等を支援すること。	【市民に身近な芸術活動の拠点】 ・美術作品の展示・制作の場として、文化芸術を身近に触れる機会・体験する機会を提供すること。 ・美術作品の制作指導等の実施を通じ、文化芸術に携わる人材を育成すること。 ・歴史的建造物の管理及び公開等により、文化財の継承、魅力の発信及び活用を行うこと。
制度導入により見込まれる効果	指定管理者制度導入により、指定管理者が、市の求めるビジョン・ミッションや施設の特性を踏まえつつ、専門性や企画力などのノウハウを活用しながら、開館時間の延長、参加・体験型事業の充実、多言語化対応などの具体的な取組みを進めることにより、多くの市民が、各施設において、文化芸術を鑑賞、体験し、創造活動につなげることができるような環境が構築され、市民サービスが向上することを期待する。	
成果指標※	① 展覧会（常設展を含む）入場者数 ② 施設稼働率 ③ 体験・参加型事業の利用者数	① 利用者数（市民ギャラリー・いなげ） ② 利用者数（旧神谷伝兵衛稲毛別荘） ③ 施設稼働率
数値目標※	① 200,000人以上 ② 48%以上 ③ 28,000人以上	① 34,000人以上 ② 11,500人以上 ③ 55%以上
所管課	市民局生活文化スポーツ部文化振興課	

※ 成果指標及び数値目標は、選定時に設定したものである。

2 指定管理者の基本情報

指定管理者名	公益財団法人 千葉市教育振興財団	
構成団体 (共同事業体の場合)		
主たる事業所の所在地 (代表団体)	千葉県千葉市中央区弁天3丁目7番7号	
指定期間	令和7年4月1日～令和12年3月31日(5年)	
選定方法	非公募	
非公募理由	美術振興の核となる当該施設において、展覧会の開催や美術品収集など事業実施にあたっては、十分な研究成果や豊富な経験に裏付けされた専門的知見を有する職員が継続的に携わることが必要であり、市民サービスの充実や質的な向上を図るために、同一団体が施設の管理を継続して担うほうが、合理的かつ効率的であるため。	地域アートの拠点として、展覧会の企画や講習会の実施等にあたっては、企画立案や美術品の展示に関する専門性を要するとともに、隣接する国登録有形文化財(旧神谷伝兵衛稲毛別荘)の管理に係る経験等も必要となるため。
管理運営費の財源	指定管理料及び利用料金収入	

3 管理運営の成果・実績

(1) 成果指標に係る数値目標の達成状況

ア 千葉市美術館

成果指標	数値目標※	R7年度実績	達成率
展覧会(常設展を含む)入場者数	200,000人以上	237,162人	118.6%
施設稼働率	48%以上	46.2%	96.3%
体験・参加型事業の利用者数	28,000人以上	28,104人	100.4%

※数値目標は選定時に設定した数値であり、市設定の数値を上回る目標を指定管理者が設定している場合、市設定の数値は括弧書きで表している。

イ 千葉市民ギャラリー・いなげ

成果指標	数値目標※	R7年度実績	達成率
利用者数 (市民ギャラリー・いなげ)	34,000人以上	19,456人	57.2%
利用者数 (旧神谷伝兵衛稲毛別荘)	11,500人以上	8,149人	70.9%
施設稼働率	55%以上	42.3%	76.9%

※数値目標は選定時に設定した数値であり、市設定の数値を上回る目標を指定管理者が設定している場合、市設定の数値は括弧書きで表している。

(2) その他利用状況を示す指標

指 標	R7年度実績
※設定なし	

4 収支状況

(1) 必須業務収支状況

ア 収入

費 目		R 7 年度	【参考】 R 6 年度	計画実績差異・要因分析		
				差異		主な要因
指定管理料	実績	622,017	558,188	実績－計画	0	
	計画	622,017	558,188	計画－提案	△ 14,638	委託費の削減による
	提案	636,655	530,068			
利用料金収入	実績	91,216	58,903	実績－計画	17,468	観覧料収入の増
	計画	73,748	95,636	計画－提案	2,449	計画と提案の差による
	提案	71,299	91,344			
その他収入	実績	19,733	12,395	実績－計画	△ 1,915	ミュージアムショップ売り上げ減
	計画	21,648	20,105	計画－提案	0	
	提案	21,648	20,605			
合計	実績	732,966	629,486	実績－計画	15,553	
	計画	717,413	673,929	計画－提案	△ 12,189	
	提案	729,602	642,017			

イ 支出

費 目		R 7 年度	【参考】 R 6 年度	計画実績差異・要因分析		
				差異		主な要因
人件費	実績	183,786	174,628	実績－計画	3,324	給与（職員手当）の増
	計画	180,462	170,646	計画－提案	△ 3,358	人員構成の差による
	提案	183,820	169,487			
事務費	実績	120,230	110,724	実績－計画	3,079	公租公課費（法人消費税・印紙代）の増
	計画	117,151	121,050	計画－提案	△ 3,539	広告宣伝費の減
	提案	120,690	89,383			
管理費	実績	0	0	実績－計画	0	
	計画	0	0	計画－提案	0	
	提案	0	0			
委託費	実績	175,806	168,801	実績－計画	△ 9,937	清掃業務委託の契約差金
	計画	185,743	174,013	計画－提案	9,314	駐車場管理業務等仕様の見直し、委託人件費の高騰
	提案	176,429	188,448			
その他事業費	実績	208,139	185,095	実績－計画	△ 14,633	監視員業務委託の契約差金
	計画	222,772	197,786	計画－提案	△ 15,217	展覧会事業委託費見直しによる減
	提案	237,989	183,634			
間接費	実績	11,652	11,442	実績－計画	367	
	計画	11,285	10,434	計画－提案	611	
	提案	10,674	11,065			
合計	実績	699,613	650,690	実績－計画	△ 17,800	
	計画	717,413	673,929	計画－提案	△ 12,189	
	提案	729,602	642,017			

間接費の配賦基準・算定根拠

公益法人会計基準に則り6つに区分し、本部経費については、従事割合等の配賦基準により各会計に配賦計上。法人会計に配賦した費用から基本財産、特定資産の運用益等の収益を差し引いた差額を、法人会計以外の5つの会計へ配賦した額の割合で按分し、法人会計の財源として一般管理費に計上する。

(2) 自主事業収支状況

ア 収入

(単位：千円)

費 目		R 7 年度	【参考】 R 6 年度
自主事業収入	実績	6,632	12,657
その他収入	実績	0	0
合計	実績	6,632	12,657

イ 支出

(単位：千円)

費 目		R 7 年度	【参考】 R 6 年度
人件費	実績	675	680
事務費	実績	1,211	614
管理費	実績	0	0
委託費	実績	835	5,987
使用料	実績	0	0
事業費	実績	1,738	969
利用料金	実績	44	615
その他事業費	実績	0	0
間接費	実績	106	122
合計	実績	4,609	8,987

間接費の配賦基準・算定根拠

(3) 収支状況

(単位：千円)

		R 7 年度	【参考】 R 6 年度
必須業務	収入合計	732,966	629,486
	支出合計	699,613	650,690
	収 支	33,353	△ 21,204
自主事業	収入合計	6,632	12,657
	支出合計	4,609	8,987
	収 支	2,023	3,670
総収入		739,598	642,143
総支出		704,222	659,677
収 支		35,376	△ 17,534
利益の還元額		0	0
利益還元の内容		—	—

5 管理運営状況の評価

(1) 管理運営による成果・実績（成果指標の目標達成状況）

ア 千葉市美術館

評価項目	市の評価	特記事項
展覧会入場者数	B	
施設稼働率	C	
体験・参加型事業の利用者数	C	

イ 千葉市民ギャラリー・いなげ

評価項目	市の評価	特記事項
利用者数（市民ギャラリー・いなげ）	E	展覧会開催機会の減少により、個別の展覧会の集客増加だけでは利用者数目標の達成が困難となっている。
利用者数（旧神谷伝兵衛稲毛別荘）	D	市民ギャラリーいなげの利用者数及び稼働率の低下に伴い、旧神谷伝兵衛稲毛別荘の利用者数も減少。
施設稼働率	D	利用者の高齢化に伴う定期利用団体の活動縮小や解散による減。

【評価の内容】※数値はいずれも原則であり、特殊な事情がある場合は当該事情も含め、総合的に判断する。
 A：成果指標が市設定の数値目標の120%以上（ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はBとする。）
 B：成果指標が市設定の数値目標の105%以上120%未満（ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はCとする。）
 C：成果指標が市設定の数値目標の85%以上105%未満
 D：成果指標が市設定の数値目標の60%以上85%未満
 E：成果指標が市設定の数値目標の60%未満

(2) 市の施設管理経費縮減への寄与

評価項目	市の評価	特記事項
市の指定管理料支出の削減	C	提案額：636,655千円、実績額622,017千円 提案額の5%未満の削減となり、C評価とした。

【評価の内容】※数値はいずれも原則であり、特殊な事情がある場合は当該事情も含め、総合的に判断する。
 A：選定時の提案額から10%以上の削減
 B：選定時の提案額から5%以上10%未満の削減
 C：選定時の提案額と同額又は5%未満の削減
 （D・E：選定時の提案額を超える支出を行うことはないため、該当なし）
 ー：対象外（市の指定管理料支出がない。）

(3) 管理運営の履行状況

評価項目		自己評価	市の評価	特記事項
1	市民の平等利用の確保・施設の適正管理			
	市民の平等利用の確保	C	C	
	関係法令等の遵守			
	リスク管理・緊急時対応			
2	施設管理能力			
	(1) 人的組織体制の充実			
	管理運営の執行体制	C	C	
	必要な専門職員の配置			
	従業員の能力向上			
	(2) 施設の維持管理業務			
	施設の保守管理	C	C	
	設備・備品の管理・清掃・警備等			
3	施設の効用の発揮			
	(1) 幅広い施設利用の確保			
	開館時間・休館日	C	C	
	利用料金設定・減免			
	利用促進の方策			
	(2) 利用者サービスの充実			
	利用者への支援	C	C	
	利用者意見聴取・自己モニタリング			
	(3) 施設における事業の実施			
	施設の事業の効果的な実施	C	C	
	自主事業の効果的な実施			
4	その他			
	市内業者の育成	C	C	
	市内雇用への配慮			
	障害者雇用の確保			
	施設職員の雇用の安定化への配慮			

【評価の内容】

- A：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を上回る、特に優れた管理運営が行われていた。
 B：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を上回るなど、優れた管理運営が行われていた。
 C：概ね管理運営の基準・事業計画書等に定める水準どおりに管理運営が行われていた。
 D：一部、管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を満たしておらず、改善の余地がある管理運営が行われていた。
 E：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を満たしておらず、速やかな改善が求められる管理運営が行われていた。

(4) 市民局指定管理者選定評価委員会意見を踏まえた対応

意見の内容	意見対象年度	対応・改善の内容
(ア) 契約業者の見直し等光熱費のコスト削減について引き続き検討されたい。	令和7年度	電気・ガス等の契約内容について、使用実績を踏まえた料金の見直しを行うとともに、複数事業者の比較検討を実施した。引き続き、利用状況に応じた効率的な運用と契約条件の精査を行い、コスト削減に取り組んでいく。
(イ) 美術館のアンケートについて、ウェブアンケートやアンケートボックスの常設等、広く意見を募集することを検討されたい。	令和7年度	来館者の意見を幅広く収集するため、館内（7階・5階・4階）に常設のアンケートボックスを設置した。また、「ノック ノック！千葉市美術館をたのしむ4つの扉」展では、QRコードから回答可能なウェブアンケート（ノックノックフォーム）を導入した。本取組では回答内容をウェブ上で共有できる仕組みとし、来館者同士が作品に対する多様な捉え方を共有できる参加型の鑑賞体験の提供につなげた。

6 利用者ニーズ・満足度等の把握

(1) 指定管理者が行ったアンケート調査

ア 千葉市美術館

実施内容	調査方法	展覧会の会場にアンケート用紙・ボックスを設置し、来場者の意見等を収集した。 （このほかに、イベントごとに終了時に用紙を配布し、意見の収集をした。施設利用者へは、利用後の報告用紙に意見等を記入してもらっている。受付などで受けた意見については日報に記録し、集約している。）
	回答者数	1082件
	質問項目	年齢、性別、住所、交通手段、展覧会を知った媒体、来館回数、展覧会の感想、その他本施設に対する意見
結果	ア 回答者の属性： 年齢（10歳未満 5%、10代 9%、20代 10%、30代 7%、40代 11%、50代 21%、60代 19%、70代 13%、80歳以上 4%、無回答 1%） 性別（男性 36%、女性 61%、その他 1%、回答しない 1%、無回答 1%） 住所（市内 37%、県内 33%、関東 9%、都内 16%、その他 4%、無回答 1%） イ 交通手段： J R千葉駅より徒歩 23.4%、J R千葉駅よりバス 6.4%、J R千葉駅よりタクシー 0.5%、京成千葉中央駅 12.9%、モノレール 8.7%、自家用車 25.0%、自転車 3.3%、その他 18.2%、無回答 1.7% ウ 展覧会を知った媒体（複数回答）： 新聞 7.2%、雑誌・タウン誌 1.2%、テレビ・ラジオ 4.1%、チラシ 19.7%、ポスター 11.4%、市政だより 2.3%、知り合いから 15.9%、友の会・美術館ニュース 3.6%、千葉市美術館ホームページ 11.1%、その他インターネットサイト 9.1%、館に来て 4.2%、千葉市美術館SNS 1.4%、その他 4.7%、無回答 4.3% エ 来館回数： はじめて 35.3%、2～3回 17.6%、4～5回 10.3%、6回以上 36.0%、無回答 0.9% オ 感想： とてもよかった 58.9%、よかった・期待どおり 32.0%、普通 5.3%、あまりよくなかった 1%、よくなかった・期待はずれ 0.7%、無回答 2.1%	

イ 千葉市民ギャラリー・いなげ

実施内容	調査方法	ギャラリー棟・別荘にアンケート用紙と回収箱、ギャラリー棟に意見箱を用意し、来館者の意見を収集した。
	回答者数	1,214件
	質問項目	来館日、性別、年齢、住所、利用施設、申込・受付方法、施設の管理・清掃、受付・窓口の対応、気づいた点
結果	ア 回答者の属性： 年齢（10代 5.6%、20代 8.9%、30代 8.8%、40代 14.3%、50代 22.9%、60代 18.2%、70代 16.0%、80代以上 5.3%） 性別（男性 37.8% 女性 62.2% 回答無し0.0%） 住所（中央区 5.2%、花見川区 5.8%、稲毛区 16.0%、若葉区 2.5%、緑区 2.1%、美浜区 11.7%、県内他市38.9%、県外その他17.8%） イ 利用施設： ギャラリー棟 41.8%、別荘 58.2% ウ 申込・受付方法： 今のままでよい 99.2%、改善してほしい 0.8% エ 清掃状況 ギャラリー棟（良い 96.3%、普通 3.6%、良くない 0.1%） 別荘（良い 99.0%、普通 1.0%、良くない 0.0%） オ 窓口・受付対応 ギャラリー棟（良い 95.0%、普通 4.9%、良くない 0.1%） 別荘（良い 97.9%、普通 2.0%、良くない 0.1%）	

(2) 市・指定管理者に寄せられた主な意見・苦情と対応

ア 千葉市美術館

主な意見・苦情	指定管理者の対応
貸出施設の利用者が、うるさい。利用者がロビーや廊下等共用スペースを占領している。	利用者へ共用スペースでの占有的利用をしないよう速やかに注意を行い、理解してもらっている。
（KnockKnockカードについて） ・来館者参加型でワクワク感がありました。 ・普段とちがう見方ができて面白かったです ・knock knockカードを1セットもらいました。大人でもこうした見方で作品を見ると、思いがけない発見につながります。ありがとうございました。	来館者が作品との関わりを深めるための支援として、「視点」や「問いかけ」、作家・作品に関する知識等を盛り込んだ鑑賞ツールの充実に取り組んでおり、令和7年度は特に重点的に展開した。 KnockKnockカードはその一環として作成したものであり、「問いかけカード」「展覧会紹介カード」「メモ用カード」「年間展覧会一覧カード」により構成されている。来館者が主体的に作品を鑑賞し、多様な気づきや発見につながるよう工夫したものであり、本意見からもその効果が確認できた。今後も来館者の鑑賞体験の向上に資する取組として継続していく。
個室トイレにウォッシュレットを付けて欲しい。洋式トイレを増やしてほしい。	トイレ設備の改善に関する要望については認識しているが、大規模改修工事が予定されていることから、改修計画との整合を踏まえた対応が必要である。大規模改修後の検討課題として、利用者の利便性向上の観点から今後の設備改善の参考としていく。トイレ内の備品について可能なものは設置し要望に対応した。（幼児用便座など）

イ 千葉市民ギャラリー・いなげ

主な意見・苦情	指定管理者の対応
（設備面について） ・雨漏りなど老朽化している部分などを直してほしい。 ・バリアフリー（段差）等高齢者に対応してほしい。	・千葉市と協議し、市建築部に雨漏りの現況を説明した。 ・雨漏りの影響でカビが発生し汚れた壁面の塗装修繕を行った。 ・施設の立地する地形による制約のため、転倒の恐れがある段差箇所を調査修繕し、高齢者の安全を確保した。 ・車椅子の観覧者に対しては、搬入口より誘導し、2階の展示を1階に移すなど柔軟な対応をした。
（主催事業について） ・神谷別荘の見てきた景色は、とても意義のある内容だった。 ・中学校美術部展は、部にとつての貴重な発表の機会。とてもありがたい。継続を強く願う。 ・世界児童画展では、海外の作品が展示されており感動した。 ・はじめての展示講座ではとてもお世話になった。	・たくさんの来場に感謝している。神谷別荘等の歴史に関する展示がまたできるよう検討していく。 ・展示スペースに制限があるが、屋外や別荘など校数が増えても展示ができるように努めたい。 ・今後も美育文化協会と連携して継続に努めたい。 ・これからも、講座の資料をつかい随時レクチャーをしていきたい。
（広報・情報提供について） ・駅から施設までの道順がわかりにくい。	QRコードを積極的に活用してホームページ中の情報に容易にアクセス出来るよう、情報の到達経路の整備に努めた。京成稲毛駅からギャラリーまでの道案内動画を提供して視覚で確認できるわかりやすい案内を行った。紙媒体では年間予定表を兼ねた「いなげ八景散策マップ」に公共交通機関（バス）の情報を掲載し、観光案内施設、民間商業施設等に配布した。稲毛公園内の案内看板をリニューアルした。

7 総括

(1) 指定管理者による自己評価

総括 評価	C	所見	【美術館】 令和7年度は開館30周年の年であった。9本の企画展を開催したが、ほとんどがコレクションを中心として学芸員が自ら企画した展覧会で、30周年を迎えて美術館のこれまでの実績を示し未来を問う内容となった。作品保存の観点から毎月展示替えを行っている13本の常設展（コレクション展）も、年間を通じて30周年記念特集展示として編成し、企画展を補充してコレクションの歴史や個性を示すものとした。コレクションとその調査研究に基づく企画性の高い展示の充実した内容が話題となり、企画展数も多かったことから、年間の展覧会入場者数は合計237,162人に達し、開館以来歴代1位となった。 特に「江戸の名プロデューサー 葛屋重三郎と浮世絵のキセキ」および「ロックフェラー・コレクション花鳥版画展」は来館者数を大きく伸ばした。前者は、浮世絵黄金期を支えた版元・葛屋重三郎を軸に、浮世絵史を体系的に紹介するとうたい、大河ドラマを契機に浮世絵に対する関心が全国的に高まる中、開催時期も功も奏して、当館の知名度あるコレクションを大いに活用できた。本展では所蔵品図録として簡便な形態の図録を発行し、売上も伸ばし増刷に及んだ。後者は、海外の貴重なコレクションを紹介したものであり、国内では鑑賞機会の少ない花鳥版画を最新の調査成果でまとめた形で提示した点において希少性の高い展示となった。当館のこれまでの研究や海外も含む人的交流、企画展を自前で開催するノウハウにより、物価高、燃料高や円安などの、厳しい社会経済情勢の中において、効率よく開催されたものといえる。 さらに、「未来／追想 千葉市美術館の現代美術」が、当館の現代美術コレクションをわかりやすく構成した企画で、専門家や愛好者からの注目を集めたばかりでなく、新しい来館者層を引き寄せ、1万5千人に迫る来館があったことも特筆できる。美術館草創期のコレクションの充実が大いに示されたと同時に、現代美術であるだけに近年の収集がないことも浮き彫りにはなった。また、「千葉美術散歩」は、地域の美術を掘り起こし、千葉の「場」を軸にまとめたかつてない重要な企画として、メディアや来館者の評価も高く、上々の成果をあげることができた。 いずれも直接の事業支出を抑えつつ、これまで培ってきた広報活動の成果も相まって、日本美術への関心喚起と来館者数の増加に寄与することができ、画期的な特別な年となった。 全体として、30周年という節目を契機に、収集・保存・調査研究・展示・教育普及といった美術館の基幹機能を総合的に展開するとともに、デジタルアーカイブの充実やデジタルアーカイブを活用した鑑賞の試み（ノックノックフォーム）、市民協働によるプログラムの実施など、多角的な事業運営を推進した。展覧会の質的向上とあわせて、多様な来館者層へのアプローチおよび美術館活動の理解促進を図ったことで、年間を通じた美術館の総利用者数も計393,324人と、開館以来歴代1位となった。 【Gいなが】 市民が世代やジャンルを超えて美術や文化に親しみ、交流できる「場」を目指し、地域商店街や各教育機関との連携を踏まえた展覧会、講習会及びイベント等を企画・運営し、地域アート・文化の拠点としての事業を展開した。 開館から37年経過したことで、散在していた当館の資料や倉庫を長期間をかけて整理すると共に、調査研究を行った結果としての企画展「神谷別荘の見てきた景色-文化財の保存とこれから-」を開催。また、開館するまでの過程をまとめた動画「みんなで守り伝える文化財-旧神谷傳兵衛稲毛別荘-」を制作し公開した。さらに資料調査の過程で発見した作品を整理し「湯浅博写真展」として展示するなど、本年は改めて当館の設立経緯や歴史、存在意義や文化財保存について見つめ直す機会となった。またその内容を市民に広く伝えることができた。 あわせて年間を通じてロビー等に、予約不要無料で体験できるコーナーを設置し、好評を博したことで年々若年層の利用が増加している。教職員ネットワークや財団のノウハウの活用を行いながら、学校や公民館、美術館、生涯学習センターや地域商店街など様々な機関と連携展示を行うことで当館の周知に努めた。 その結果、利用者数は、展示室（1609名増）制作室（817名増）旧神谷伝兵衛稲毛別荘（683名増）と、いずれも昨年度よりも増加している。
----------	---	----	--

(2) 市による評価

総括 評価	C	所見	【千葉市美術館】 企画展事業においては、写真展・彫刻展・現代美術展・浮世絵展と当初計画どおりに事業を展開しており、来館者アンケートの結果から満足度が高いことが伺える。 令和7年度では全ての企画展が開館30周年記念特集展示として編成したところであり、その中でも「江戸の名プロデューサー 葛屋重三郎と浮世絵のキセキ展」では、市美術館の中でも知名度のあるコレクションを活用し、浮世絵史として体系的に紹介したこと、「ロックフェラー・コレクション花鳥版画展」では、国内で鑑賞機会の少なかった花鳥版画を海外コレクションを借用し紹介したことなどにより、市民等の関心が高まり観覧者数の増につながった結果、展覧会入場者数は、開館以来歴代1位となる237,162人となっている。 さらに、新たな鑑賞の試みとして、デジタルアーカイブを活用した鑑賞ツールとしてノックノックフォームの取組みもあり、鑑賞の質の向上も見られる。 また、体験・参加型事業では、つくりかけラボにおいて、オープンワークショップとして、会期中は常時参加可能となるプログラムにしたことで、継続的な利用につながり、参加者数が安定したことに加え、増加することでもできている。 【千葉市民ギャラリー・いなげ】 展示室、制作室、旧神谷伝兵衛稲毛別荘の利用者数は、何れも昨年度よりも増加しているほか、展示室や制作室の稼働率は概ね計画どおりの達成率となっている。 また、施設への道順がわかりにくいとの意見について、施設近隣の公園内に設置している案内看板リニューアルやSNSを通じたアクセス方法の周知といった対応を速やかに行っているほか、建物・庭園内ともに日常清掃が行き届いているという評価が昨年度に引き続きあり、市民サービスの向上に努めている。 さらに、第3展示室を個人の展示スペースとして一般貸出しを行い、新たな利用の促進に努めるといった施設利用率の改善に向けた取組みがあった。 それらの状況から、美術館の特徴を十分に活かしながら企画展などが実施されるとともに、鑑賞の質の高まりや利用促進の取組みといった市民サービス向上に向けた新たな取組みにも着手するなどしたことにより、展覧会入場者数は歴代1位となり収支の改善に繋がっていることから、市が求める水準等を上回る良好な管理運営が行われていたものと考えられるため、評価の目安では、総括評価がD評価となるところ、C評価と判断する。
----------	---	----	--

【評価の内容】

- A：市が指定管理者に求める水準等を大きく上回る、特に優れた管理運営が行われていた。
 B：市が指定管理者に求める水準等を上回る、優れた管理運営が行われていた。
 C：概ね市が指定管理者に求める水準等に則した、良好な管理運営が行われていた。
 D：管理運営の一部において市が指定管理者に求める水準等に達しておらず、改善の余地のある管理運営が行われていた。
 E：管理運営全般において市が指定管理者に求める水準等に達しておらず、速やかな改善が求められる管理運営が行われていた。

(3) 市民局指定管理者選定評価委員会の意見

ア	市の作成した年度評価案の妥当性について 市の作成した年度評価案の内容は、妥当であると判断される。
イ	管理運営のサービス水準向上、業務効率化の方策、改善を要する点等について (ア) 千葉市美術館 a 企画展の内容が素晴らしい、また写真撮影が可能な展示であったことで、特に若い世代がSNSへ投稿したことによる周知効果も考えられ、観覧者数が増加した点は評価できる。 b アンケートの実施項目について、通年同一の内容のみならず、対象や目的、または企画展の内容に応じた項目を検討されたい。 c Knock Knockカードについて、来場者の様々な意見や見方が共有できるととても良い取組みであるため、結果をアンケートフォームとも紐づけながらより効果的な実施に努められたい。 (イ) 千葉市民ギャラリー・いなげ a 引き続き利用者数の増加につながるよう、特に地域住民との連携、地域の学校とのコラボレーション、PR活動などへの取組みを検討されたい。 b アンケート項目について、来場者の交通手段の把握のための項目を追加することで、意見にあった道が分かりにくい方への効果的なPRの仕方の模索にもつながるため、検討されたい。 (ウ) 指定管理者の財務状況について、計算書類等の資料に基づいた判断であることを前提とするが、財務状況に特段問題は見られないことから、倒産、撤退のリスクはないと判断される。